

革新的研究開発推進会議 議事概要

- 日 時 平成26年6月5日（木）11：04～11：12
- 場 所 中央合同庁舎4号館4階共用第2特別会議室
- 出席者 久間議員、内山田議員、大西議員、小谷議員、中西議員、橋本議員、
原山議員、平野議員
事務局 中野審議官、森本審議官、山岸審議官、河内参事官、川崎企画官

○ 議事概要

議題1. 最先端研究開発支援プログラム及び最先端・次世代研究開発支援プログラムの事後評価の実施について【公開】

○久間議員 それでは、ただいまから第3回革新的研究開発推進会議を開催させていただきます。

本日は大臣、副大臣、政務官がご欠席となっております。

本日の議題は、最先端研究開発支援プログラム及び最先端・次世代研究開発支援プログラムの事後評価の実施についてであります。要するに、FIRSTとNEXTですね。

それでは、事務局から資料の説明をお願いします。

○河内参事官 それでは、ご説明をさせていただきます。

革新的研究開発推進会議、IMPACTの会議ではございますけれども、FIRST及びNEXTにつきましては、平成25年度末をもって終了しておりますので、評価等の26年度以降に必要な事務につきましては、この革新的研究開発推進会議において行っていくというふうなルールを2月の本会議の場で、この革新的研究開発推進会議の設置をいただいたときに、その規定の中に盛り込んでいるところでございます。

今日お諮りをさせていただきたいのは、FIRST・NEXTの事後評価の方向性でございます。基本的な方向性を今日ご議論、お認めいただいた上で、具体化をこれからしていきたいということでございます。

用意しております資料に沿ってご説明をさせていただきますが、1. 基本的考え方。当然のことが書いておりますけれども、1つは、課題のしっかりとした事後的な評価をしなければいけないということ。

さらに、このFIRST及びNEXTにつきましては、時限的ではあったわけですがけれども、総合科学技術会議が主導してきた省庁横断のシンボリックな研究開発プログラムであったとい

うこともありますので、その制度の趣旨なり、当初意図した政策的な意味合いがしっかりと反映されたかどうかといったような観点から、プログラムの制度的な観点についてもしっかりとその評価をすることが必要ではないかということが述べてあります。

さらに、FIRSTについては、毎年度のフォローアップなり中間評価も実施をいたしましたし、さらにNEXTについても進捗管理をJSPSさんのほうで行っていただきながら、中間評価は25年12月に行っているということがありますので、そうした結果も活用して効果的・効率的にやっていきたいということでございます。

実施方針のところ、今述べたように、研究課題の事後評価とともにプログラムの事後評価を行うということでございます。

めくっていただきますと、3. 実施体制のところですが、従来、フォローアップあるいは中間評価については外部有識者の参加をお願いしてきたわけですが、事後評価につきましては外部評価委員会を設置したいということでございます。これは、当初、このFIRST・NEXTを創設したときのルールに、最後の評価についてはこういった外部評価委員会を設けるということが規定をされておまして、FIRST・NEXTそれぞれ外部評価委員会を新たに設置したいということでございます。

構成につきましては、そこにありますように、これまでの評価の継続性にも留意しつつ、さらには、制度的、プログラムの評価もするということが加味しまして、そこにありますような構成メンバーではどうかということです。

達成状況をしっかりと評価できる有識者の方、さらには、それぞれのプログラムの政策的意図に知見を有する先生方、また研究開発環境なり、あるいは研究開発のマネジメントに知見を有する先生方、そして知的財産権あるいはその標準化等に関するような有識者の先生方、さらには、若手でありますとか女性でありますとか、特にNEXTはこういった方々に焦点を当てて推進してきましたので、こうした方々にも参加をいただいたらどうかということでございます。

その後に役割あるいは評価プロセスがございますけれども、後でポンチ絵がございますので、そちらのほうでご説明をさせていただきます、次のページ、(3)に民間事業者の活用ということがうたっております。

事務局の負担軽減ということも、評価を進める上で必要な観点かと思っておりますので、できる限り民間の方々に官民の役割分担には十分留意しつつも、評価のプロセスの中で民間の方々が参加、事業者の方が参加できるような環境をつくっていけないかということも検討した

いというふうに思っています。

この推進会議のもとに最先端プログラム評価・フォローアップ会合というのを設置させていただいて、具体的にはそこでまたご議論をいただくような場にしていきたいということであり
ます。

後ろのほうに資料を幾つかつけておまして、2枚あって、参考1と参考2という絵が載せてあります。

FIRST・NEXTそれぞれの実施体制でございまして、FIRSTについては、総合科学技術・イノベーション会議のもとに設けられております、この革新的研究開発推進会議の中に、先ほど申し上げました最先端プログラム評価・フォローアップ会合というのを設けさせていただいて、そこに対してFIRST外部評価委員会が外部評価報告書を提出する。その外部評価委員会の構成としては、評価委員会のもとに領域ごとの評価小委員会というのを設けたいというふうに思っております。これは従来も中間評価等の際にはこういった形で、あるいはフォローアップの際にはこういった形でやってきたというふうな形になっております。それぞれ評価をまとめていただいて、最終的には本会議に提出をするというふうなことを考えております。

次のページはNEXTについてですけれども、NEXTのほうは領域別といいますか、グリーンとライフという2つの大きな領域にはなっておりますけれども、同様に外部評価委員会を設置いたしまして、その評価報告書を同様にフォローアップ会合のほうに出していただく、推進会議のほうに出していただくというふうなことを考えております。

説明は以上でございます。

○久間議員 どうもありがとうございました。

それでは、ただいまの話に関しましてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、今年度行いますFIRST・NEXTの事後評価につきましては、ただいまの説明に沿って進めさせていただきます。

一部の先生方には、またいろいろとご協力というか責任を持って対応していただきますけど、よろしくをお願いします。

異議がないですよ。よろしいですね。

(異議なし)

ありがとうございます。

以上で、本日の推進会議を終了させていただきます。

(以上)